

総合造形科 学習指導案

大阪府立港南造形高等学校 指導教諭

1 題材名「自分でつくった詩のイメージを絵で表現し、発表する」

2 題材設定の理由

3年次の造形基礎Ⅲは、1、2年次に身につけた描写力、構成力、色彩理論や色彩感覚を生かして各自の表現力や表現の幅を深めることを目標に、平面分野における構想表現課題を中心に授業を展開している。すでに「詩」をテーマにイメージを広げて絵画表現に結びつける課題を取り入れているが、自分自身で「詩」を作り、それを絵で表現することにより、心情や情緒を言葉によって表現することと造形言語によって絵画的に表現することの関係性について、より理解を深めることが出来ると考えた。さらに合評会の際、その詩を本人に朗読させたり、表現意図を発表させることにより、作者と鑑賞者の共感を生みだし、より深いレベルで鑑賞することが可能となると考え、この題材を設定した。

2 科目名・講座・対象生徒・総時間

学校設定科目「造形基礎Ⅲ」（3年次必修専門科目）5講座（各クラス39名）8時間課題

3 準備

プロジェクター、スクリーン、パソコン、データ、課題プリント、資料(参考作品・参考画集、画用紙、ケント紙、新聞紙、掲示用マグネット

4 本題材の学習指導計画

週	時間	学 習 内 容	指 導 上 の 留 意 点
1	1 h	・課題(内容、目標、制作の流れ等)の説明を聞く。	・プリント(参考②)で説明する。
	1 h	・詩の種類、構造、表現方法について学ぶ。 ・詩を作る。	・板書で説明し、要点をノートさせる。また、内容に関係することを出来るだけ生徒に質問し答えさせる。 ・谷川俊太郎、吉岡実等の詩を紹介する。 ・次回までに必要な資料等を準備するよう連絡する。
2	1 h	・抒情的な絵画(参考①)をスライドで鑑賞し、自分の表現の参考にする。	・スライドが見やすい位置まで席を移動させる。 ・教員の説明を出来るだけメモさせる。



	1 h	・自分で作った詩のイメージを絵で表現する。（エスキース～本制作）	・エスキースの段階で必要に応じてアドバイスする。
3	2 h	・前週の続きの制作	・イメージ、構図、色彩、表現方法の工夫等、個々に問いかけながらアドバイスする。 ・完成度、作品の密度を追求させる。 ・未完成の者は次回までに完成しておくよう指示する。
4	2 h	・詩を作品の裏に貼付してから作品を黒板に掲示する。 ・一人ずつ前に出て自分の「詩」を朗読してから表現意図や表現上の工夫点等を述べる。 ・鑑賞する側からも積極的に質問したり感想を述べたりさせる。	・作品が見やすい位置まで席を移動させる。 ・朗読を躊躇う生徒については強要せず、表現意図等のみを述べさせる。 ・鑑賞者から質問しやすいムードをつくる。 ・少なくとも一人は感想を述べさせる。 ・時間配分に注意する。 ・最後にもう一度本課題の目標や意図を確認させる。

5 評価の観点（「造形基礎Ⅲ」は、学校設定科目）

- ・詩を作ることへの意欲・関心と、その表現力
- ・自作の詩を絵画的に表現する上での構想力、創造力
- ・合評会において、表現意図やイメージを言葉で表現する意欲や説得力
- ・作者(他者)の心情や、表現意図などを感じ取ろうとする姿勢

参考① 「抒情的な絵画」スライド作品

- | | |
|------------------|----------------------|
| ・松本竣介 「街」 | ・斉藤 昇 「異邦人Ⅱ」 |
| 「都会」 | ・岩本かずえ「福寿草が咲いた」 |
| ・猪熊弦一郎「バレリーナの夢想」 | ・中西 勝 「地震屋の軍隊がやってきた」 |
| ・麻生三郎 「二人像」 | ・島田章三 「駅の人たち」 |
| ・森 芳雄 「画家と家族」 | ・パウル クレー 「黄金の魚」 |
| ・芝田米三 「樹下群馬」 | 「黄色い鳥のいる風景」 詩と絵 |
| ・田口安男 「かげとかげり」 | ・シャガール「街の魂」 |
| ・西村 功 「ベンチの人々」 | 「ヴァンスの空の恋人たち」 |
| ・宮崎 進 「見世物芸人」 | ・丸岡慎一 「鳥たち」 |
| ・鴨居 玲 「静止した刻」 | |
| ・脇田 和 「窓」 | |
| 「対話する鳥たち」 | |
- ・本校卒業生の油彩画作品 10 点
- ※いずれも、今回の課題の参考になると思われる作品（作者の心情が強く感じられる「抒情性」豊かな作品）を選定した。

参考② 課題プリント

造基Ⅲ 課題No.3

イメージ表現＜自分でつくった詩のイメージを絵で表現し、発表する＞

◆制作のながれ

①与えられた言葉を自由を選んで、それらの言葉からイメージを広げて「詩」をつくる。

(時間に余裕があれば次回イメージ画のエスキース)

・原稿用紙配布

＜1回目 2時間＞

次回、その詩をもとに絵画によるイメージ表現をするが、必要な資料や学校にないモチーフを自分で準備し、授業時に持参する。

②自分でつくった詩のイメージを絵で表現する。＜2～3回目 4時間＞

・B3画用紙全面、縦横自由

・詩を画面の裏に添付し、右下に 造基Ⅲ 学籍番号 名前 を記入する。

※絵の具はデザイナーズカラー、アクリルガッシュを基本とするが、透明水彩絵の具等、水性であれば併用可。

③詩や表現意図、作品を発表する＜4回目 2時間＞

ヒントになる言葉

■場所に関する言葉

駅（停留所）、港、市場、道（路地・坂道・迷路等）、橋、公園、遊園地、水族館、プール、レストラン、工場、遺跡、実験室、倉庫、博物館、図書館

■人や生き物に関する言葉

道化師、役者、ダンサー、戦士、学者、旅人、獣、鳥、魚、貝、虫、樹木草花・・・

■モノに関する言葉

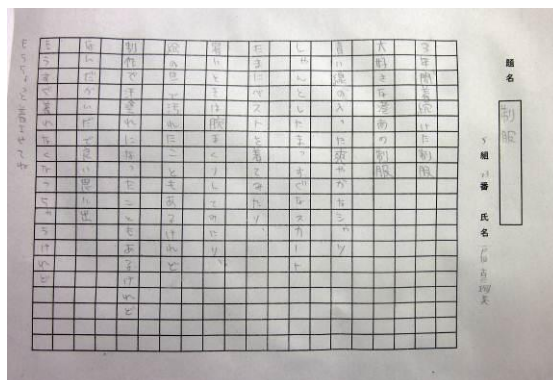
切手、地図、仮面、楽器、食器（グラス等）、機械部品（歯車等）、時計、コンパス（羅針盤）
鎖、靴、鞆、望遠鏡、乗り物（船、列車等）

■その他

記憶、追憶、郷愁、予感、忘却、時間、沈黙、雑踏、鼓動、呼吸、夢、匂い、音色、冒険、孤独、悲哀、歓喜、便り、痕跡、発掘、蜃気楼、幻影、増殖、集積、連鎖、融合、加速、緊張、変貌、境界、風化



A watercolor illustration of a light-colored, long-sleeved button-down shirt tucked into a dark, pleated skirt. The background is a soft, abstract wash of colors including purple, blue, and yellow.



参考③ 本科目の年間計画

1 学期	1 回目	キャンディーの細密描写	B 5 ケント紙にボールペン
	2 回目	キャンディーのリアルイラスト	B 4 黒画用紙に不透明水彩
	3 回目	〃	
	4 回目	合評 殻付きピーナツの細密描写	B 5 黒画用紙に白色鉛筆
	5 回目	殻付きピーナツと封筒モチーフに構想表現	B 4 ケント紙に鉛筆
	6 回目	〃	
	7 回目	合評 するめの細密描写	B 4 グレー画用紙に白・黒色鉛筆
	8 回目	細密描写続き	
	9 回目	するめをモチーフにイメージ画	B 3 画用紙に不透明水彩
2 学期	1 回目 (7 月)	〃	
	2 回目	合評 <u>与えられた「言葉」をヒントに「詩」をつくる</u>	原稿用紙
	3 回目	<u>「詩」からイメージ表現(スライド鑑賞)</u>	B 3 画用紙又はケント紙に
	4 回目	〃	水性絵の具他
	5 回目	合評	
	6 回目	「F A C E」をテーマにイメージ表現	〃
	7 回目	〃	
	8 回目	合評 自画像制作	水張り又は直接地塗りした B 3 パネルに 自由な表現方法、表現材料で
	9 回目	自画像制作	、
	10 回目	〃 (写真撮影)	完成した自画像は卒業アルバム見開きページに全員分掲載 さらに、卒業式当日、HR 教室前に展示、公開
3 学期	1 回目	港南展校内掲示用ポスター制作	B 3 画用紙 or ケント紙に
	2 回目	〃	自由な描画材料、表現方法で
	3 回目	完成後→港南展来場者配布用「葉」制作	
	4 回目	港南展来場者配布用「葉」制作	